

令和8年度 京都府教育委員会への 要望書



久御山町

要 望 書

平素は、本町行政運営全般にわたりまして、多大なるご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて本町では、今年度から、10年間の町政運営の羅針盤・設計図となる、『第6次総合計画』が始動いたしました。

3月に開館予定の『全世代全員活躍まちづくりセンター「グランハット」』の整備をはじめ、『中央公園再整備』や『みなくるタウン整備事業』、『内水排除対策としての調整池整備』等、様々なプロジェクトを推進しているところです。

さらに、「全国一番の子育て環境のまちづくり」を目指し、昨年度末には「久御山町こどもの未来魅力化条例」を制定いたしました。保護者の経済的支援として、保育料の完全無償化をはじめ、小学校・中学校における入学時の学用品費や修学旅行費などへの補助、また、高校生までの医療費無償化や、給食費の無償化など、切れ目のない子育て環境と次世代教育の充実のための取組を展開しております。

一方で、我が国の経済は緩やかな回復基調にあるものの、人口減少や少子高齢化、それに伴う地域コミュニティの機能低下、長引くエネルギー価格や原材料費の物価高騰など、住民の生活は不安定な状況が続いております。これらの課題に対応するため、住民と行政による「協働と連携」のま

ちづくりを目指しておりますが、課題が山積しております。

今後におきましても、住民と行政が手を携え、誰ひとり取り残さない希望多き未来と、第6次総合計画においてまちの将来像として掲げている「あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝らすまち久御山～共動＊感動＊躍動のまちづくり～」の具現化に向け、京都府のご指導をいただきながら課題等の解消に向けて、精力的に取り組んでいく所存でございます。

つきましては、本町における課題等を下記の事項のとおり要望させていただきますので、特段のご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和8年8月4日

京都府教育委員会教育長 前川 明範 様

久御山町長 信貴 康孝

令和 8 年度 京都府教育委員会への要望項目一覧

項目	所管部課
日本語指導が必要な外国にルーツをもつ児童生徒への支援について	学校教育課
子どもの教育のための総合交付金による支援について	学校教育課
旧山田家住宅に係る保存・活用への支援について	生涯学習応援課

日本語指導が必要な外国にルーツをもつ児童生徒への支援について

近年、外国人労働者が急増するなか、久御山町においても人口の約1割を占めるなど、年々増加している現状です。（府内で最も高い比率）

それにあわせて、家族で来日されている方も多く、町内のこども園や小学校に入学をされる外国籍の子どもも増加しています。

また、近年、日本語をまったく話すことができない方が増加し、日本語指導や母語での支援なども難しく、転入時の手続きや懇談の際に保護者に学校の意図を理解してもらうことに苦勞しています。

久御山町のような小規模な自治体においては、児童生徒数も少なく日本語指導加配を配置することも難しい中、通訳ボランティアなどの人材もなかなか見つけられず、英語だけでなくベトナム語などになれば、さらに確保が難しい状況です。

そのため、外国にルーツをもつ児童生徒に対しての日本語指導加配などの支援をお願いいたします。

子どもの教育のための総合交付金による支援について

（こどもの未来魅力化推進事業）

久御山町では特に、ひとり親世帯の割合が全国及び京都府の2倍高い割合で、就学援助率も京都府の中では高い状況にあります。また、不登校の割合も京都府平均より高い状況です。このような現状を踏まえ、こどもの権利が尊重され、生まれ育つ環境に左右されることなく、課題や困難があっても、その将来に夢や希望を持ち続け成長していけるよう、まち全体「オール久御山」で支援するため、令和8年3月に「久御山町こどもの未来魅力化条例」を制定しました。

教育と福祉の連携強化やまち全体「オール久御山」での支援により、課題のあるこども、子育て家庭の早期発見・早期支援の取組を進め、不登校児童生徒や、虐待件数を減少させていきたいと考えています。

（久御山学園推進事業）

また本町では、コンパクトタウンの特徴を活かし、園小中一貫教育の推進に向け、「チーム久御山」としての密な連携や、本来の教職員としての専門的な指導や支援、質の高い学びの提供ができるよう、教職員が学び関わり合い、高め合える時間と場の機会を確保する「久御山学園研究会」の取組を進めています。

（小・中学生学力アップ事業「ゆめ☆スタ Weekly」講座）

そして、本町の児童生徒の学力については、全国学力・学習状況調査においても、学年が上がるにつれ全国との差が顕著になるという大きな

課題があります。そのため、令和7年度からは、主体的に学習したいと考えている中学生を対象に、部活動のない毎週水曜日に「ゆめ☆スタWeekly」(学力アップ事業)を開催し、継続した学びを通した学習意欲の向上や自信醸成へ繋げたいと考えています。本年度は、さらなる充実を図るため、夏休み期間中に集中講座を設けることとしました。

誰一人取り残さない「子育て環境日本一」を目指す京都府の教育のために、これら本町の実情に応じた取組について、引き続き京都府の財政的支援をお願いいたします。

旧山田家住宅に係る保存・活用への支援について

国登録有形文化財である旧山田家住宅は、江戸時代後期の建築物であり経年による傷みが目立つため耐震性など安全面にも配慮した適切保存にあたりつつ、一層の活用に努めているところです。

令和7年度には、集落・町並みの景観も含めた伝統的建造物群保存地区化の可能性も視野に入れた、今後の保存修理や運営の骨子となる「保存活用計画」を国庫補助金（登録有形文化財建造物修理等事業費補助金）を活用させていただき、策定しました。

今後は「国庫補助金（登録有形文化財建造物修理等事業費補助金）」や「地域未来交付金」を活用した耐震対策工事や公開活用に資する設備の整備等に取り組みたいと考えております。引き続きご支援いただきますようよろしくお願いします。